

TIAニュース

やあ!



TIAトピックス

TIA 外国人キーパーソン研修会  
とちぎグローバルセミナー2022

JICA 情報局

JICA 海外協力隊出発しました!



TIAは「やさしい日本語」の普及をすすめています。



▲ 災害時の外国人被災者支援について話す講師の菊池氏



▲ 避難所の外国人被災者への聞き取り訓練



▲ 被災者役の外国人(右)と話す参加者



▲ 参加者と被災者役外国人が一緒に振り返り

## 災害時外国人サポーター養成講座

災害時の外国人対応について学び、避難所での外国人被災者に聞き取り訓練等を行う講座を6月25日(土)に、とちぎ国際交流センターで開催しました。高校生や大学生も含め31名が参加しました。

講師には、多文化社会コーディネーターで、仙台観光国際協会の菊池<sup>あきよし</sup>哲佳さんを迎え、前半は、東日本大震災のときの災害多言語支援センターの運営、多言語情報提供の意義や課題などについて講演していただきました。

後半は、グループに分かれて、避難所での外国人被災者に声をかけ、被災状況や困っていることがないか等の聞き取り訓練を行いました。最後に、被災者役外国人と一緒に訓練の感想や反省点などを話し合いました。参加者からは、「自分の住む自治体の防災情報を確認しておきたいと思った」、「日頃から外国人と交流して関係性を作りたい」などが、また被災者役外国人からは「サポーターがわからないことに答えてくれて安心した」、「やさしい日本語でわかりやすかった」などの感想がありました。



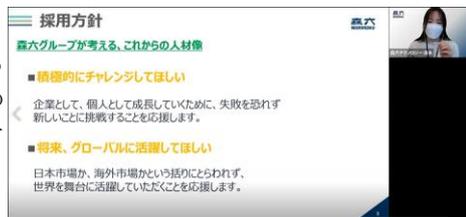
## グローバル人材を対象とした合同企業説明会

6月29日(水)、30日(木) オンライン

栃木県からの委託事業で実施している「グローバル人材確保支援事業」の一環として、国内の大学等に在籍するグローバル人材を対象に、オンラインによる合同企業説明会を実施しました。県内企業5社と外国人留学生等グローバル人材32名が参加しました。

説明会は29日3社、30日2社で計2日間行い、会社概要、採用条件、面接方法等の説明後、参加学生からの質疑応答の形式で実施しました。参加学生は採用方法、必要な資格、入社後の待遇等を率直に質問していました。説明会終了後には、面接を希望する学生から履歴書の送付方法等の連絡があった企業もあり、大変有意義なものとなりました。

12月14日(水)には、対面による県内の学生限定の説明会も予定しています。



▲採用方針を説明する企業担当者

## 第1回 TIA 外国人キーパーソンネットワーク研修会

7月30日(土) とちぎ国際交流センター

TIA から外国人住民に向けた情報を SNS 等で広める協力をしている「TIA 外国人キーパーソン」を対象に、研修会を年2回実施しています。今年度第1回目のテーマは冠婚葬祭マナーとし、結婚式、葬式などのマナーや実践を学びました。

講師は鹿沼市で活躍している国際交流団体の「グローバル・グループ」にお願いしました。前半は、冠婚葬祭についての基礎知識の説明、後半は、香典袋、祝儀袋の書き方を学び、受付での渡し方の練習もしま



▲講師を務める代表の山本氏

した。参加者からは漢字の練習みたいで難しいけれど、「初めての経験でとても勉強になった」などの声がありました。第2回研修会は、来年2月に予定しています。



▲受付で祝儀袋を渡す練習をする参加者

## 介護の仕事のための日本語セミナー

7月2日(土)、9日(土) とちぎ国際交流センター

一般社団法人にほん語でかいご共育会と共催で、同会作成のオリジナルテキストを用いた「介護の仕事のための日本語セミナー」(全2回)を実施し、20名の外国人住民(ベトナム、中国、フィリピン、ブラジル、ペルー、タイ、インドネシア、スペイン)が参加しました。

第1回目は、テキスト「にほん語でかいご～はじめて学ぶ介護の言葉」について、同会の長谷川朋子氏が介護の仕事に大切なことや動画を活用してテキストを学ぶ方法を、第2回目は、テキスト「介護現場で使う文法と語彙～申し送り編～」について、増谷祐美氏が申し送りのやり取りの音声データによる学習方法を伝えました。また、両回とも後半はグループワークを行い楽しく学びました。

参加者からは、「介護の仕事がしたい分かりました。これからはうちで自分で勉強します」などコメントをいただきました。



▲テキストの内容や使用方法について説明する長谷川氏

## 多文化共生対応力向上研修会

9月1日(木)、8日(木) とちぎ国際交流センター

多文化共生について幅広い視点から学ぶ研修会を市町職員や国際交流協会職員等を対象として行い、県内12の市町からご参加いただきました。

9月1日は、講師にNPO法人多文化共生マネージャー全国協議会副代表理事の田村太郎氏を迎え、多文化共生の基本的な考えや自治体の取組み事例、災害時の外国人支援について学びました。



▲事例とともに話す講師の田村氏

9月8日は、講師にNPO法人国際活動市民中心(CINGA)コーディネーターの新居みどり氏に、コロナ生活相談センターからみえた外国人相談事業と地域とのつながりの大切さについてご講演いただきました。そのなかで、当協会の坂本ベアトリス相談員がTIAの外国人相談事業について紹介しました。また、同法人専門相談員の笠間由美子氏からは就労や子どもの進路に必要な在留資格の基礎知識について解説していただきました。

参加者からは「これから取組みを進める上で大変有意義な研修会だった」等の多数のコメントをいただきました。



今年で13回目になる毎夏恒例の「とちぎグローバルセミナー」。国際理解・国際交流・国際協力等の分野で活動している団体による16のセミナーを実施しています。今回は7月～8月に実施した10セミナーを紹介します。  
 ※コロナ感染対策を行って実施しました。

**7/16(土) ゲームで学ぼう フェアなトレード!**

フェアトレードユース

小学生を対象に、モノを作って売った金額を競い合う「貿易ゲーム」と、バナナ・チョコレート・サッカーボールが生産地からどのように私たちに届くかを学ぶボードゲームを行いました。



**7/16(土) 「アメリカ」って何?**

栃木県産業労働観光部国際課

栃木県の国際交流員・メーガンさんが、アメリカの食文化、自然、祝日、スポーツ、日常生活について、また、出身のカリフォルニア州や栃木県の友好交流州のインディアナ州について紹介しました。



**7/23(土) 音楽で子どもと世界がつながる**

グローバル・グループ

南米民族楽器(ケーナ、サンポーニャ、ギター等)演奏家の高山直敏氏とアルパ奏者の塩満友紀氏が、南米アンデス地方の音楽を演奏し、また、民族楽器、衣装、民芸品などを紹介しました。



**7/23(土) もっと知ろう! 49°C 灼熱の北インドのこと**  
 特定非営利活動法人アーシャ=アジアの農民と歩む会

アーシャのインド事務所とオンラインでつなぎ、現地スタッフが活動内容やフェアトレード商品等を紹介しました。また、インド原産のモリンガの飲み方や、笑いヨガを披露しました。



**7/30(土) つながる世界と日本! SDGsに取り組むヒント**

JICA 筑波

熊倉百合子氏(JICA 栃木デスク)と宇梶紀子氏(小学校教諭)が講師となり、JICAの教材を用いたワークショップでSDGsを紹介し、「自分と世界のつながり」を参加者に考えてもらいました。



**8/6(土) 高校留学で海外に家族や友達を作ろう**

公益財団法人 AFS 日本協会栃木支部

アメリカ、イタリア、ブータンから県内に留学中の3人の高校生、及びチリに留学した元高校生が留学生活を話しました。後半はアメリカに留学中の高校生等も加わり、パネルトークを行いました。



**8/6(土) LET'S! 国際交流**

栃木県青年国際交流機構(栃木 IYEO)

世界中の青年とオンラインで交流する「内閣府青年国際交流事業」に参加した大学生が事業内容について発表しました。後半は、グループに分かれて同事業に関する質疑応答を行いました。



**8/20(土) お手軽! 本場インドネシアの家庭料理**

学校法人アジア学院

インドネシア出身でアジア学院を卒業したマルタ氏が、同学院産の食材を用いて、インドネシア風コロッケ「ペルケデル」と「ナシゴレン」の作り方を披露しました。また現地文化も紹介しました。



**8/27(土) とちぎからナマステ 料理でネパールを知ろう**

ネパール支援有志の会サンガサンガイ

ネパール出身のペンバ氏がエベレスト麓に住むシェルパ族の文化を説明後、家庭料理の「ポテトパンケーキ」とネパール式蒸し餃子「モモ」の作り方を紹介しました。飲み物は「ラッシー」でした。



**8/27(土) 任地も栃木も元気にする青年海外協力隊!**

栃木県青年海外協力隊 OB 会

清水美生氏(ホンジュラス/数学教育)と田島繁樹氏(ガーナ/PCインストラクター)が現地での青年海外協力隊活動を報告しました。後半はグループに分かれ、参加者からの質問に答えました。





## 令和4年度市町・県国際交流協会連絡会議

8月26日(金) とちぎ国際交流センター

年に1回、県内市町国際交流協会との情報交換と連携の強化を目的とした「市町国際交流協会連絡会議」を開催しています。

今年は15協会20名が参加し、各協会におけるコロナ禍での事業の実施方法、日本語教室の使用教材やオンラインの実施、人材バンクの運営、国際交流団体との連携事業などについて情報交換等を行いました。

## おもてなし英語ボランティア

5月11日(水)～7月20日(水) 全10回  
とちぎ国際交流センター

外国人観光客に英語で「おもてなし」できるようになるための英語講座を実施しました。講師は平野聖乃氏が務め、参加者は日本の文化やしきたりなどを英語で伝えられるよう学びました。



▲英語でディスカッションする参加者のみなさん

## 外部主催の研修会に当協会職員が協力しました

### 職員向け「やさしい日本語」活用講座

主催 小山市  
7月20日(水) 小山市役所  
講師 TIA 田島亮子

窓口での外国人住民対応に活用できるやさしい日本語について実践練習も交えてご紹介しました。



▲やさしい日本語で窓口対応のロールプレイ

### 災害時外国人サポート・ボランティア養成講座

主催 真岡市国際交流協会  
8月20日(土) 真岡市青年女性会館  
講師 TIA 田島亮子

外国人が災害発生時に直面する課題、地域で助け合うための「やさしい日本語」でのコミュニケーションを学ぶ内容で、日本人・外国人計15名が参加されました。



▲市の防災マップを確認

## JICA 情報局

## JICA 海外協力隊出発しました！ ～2022年度協力隊の紹介①～

栃木県出身隊員4名が、無事に任国へと出発しました。コロナ禍でいろいろな制約がありながらも、志高く出発へと意欲を持ち準備をしてきた方々をご紹介します。ぜひ、応援してください！

中里大介隊員(足利市出身)  
マダガスカル・コミュニティ開発「マダガスカルの農家の発展の一端を担えるように、全力で努力してまいります」



▲任国の国旗を手にする出発前の隊員

沼野彩香隊員(宇都宮市出身) スリランカ・小学校教育  
「障害のある方やその支援をする方がより自分らしく幸せに過ごしていけるようなお手伝いをしていきたいです」

林健司隊員(佐野市出身) 理科教育・カンボジア  
「たくさんのことに挑戦をし、うまくいかないことを経験し、人間的にも成長してきます。がんばります！」

篠原優衣隊員(宇都宮市出身) メキシコ・バドミントン  
「今まで日本で学んだことを生かした活動を、現地の人々とともにしていきたいです」

## JICA 栃木デスクからのお知らせ

◆筑波と世界をつなぐ様々な情報を発信中！

Website: <https://www.jica.go.jp/tsukuba/>

Facebook: <https://www.facebook.com/jicatsukuba>

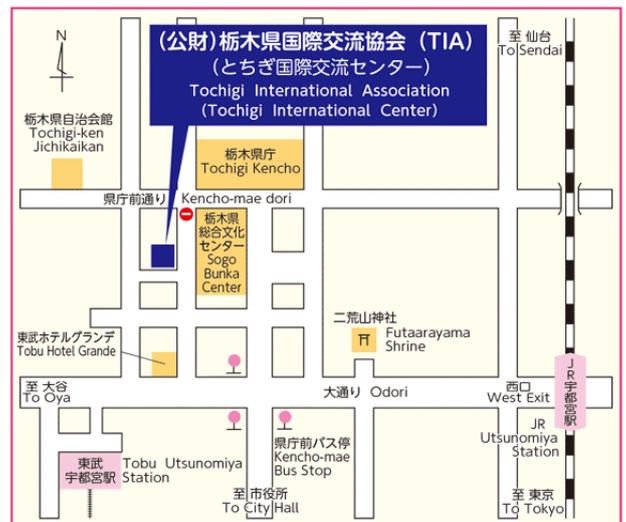
Twitter: <https://twitter.com/JICATBIC>

## TIA ホームページ内「動画」のご紹介！



TIA ホームページの「動画」には、外国の紹介、TIAで行われたセミナーやイベントなどたくさんの動画が視聴できます。ぜひご覧ください！

<https://tia21.or.jp/movie.html>



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会(TIA)  
住所 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内  
TEL 028-621-0777(代表) 028-627-3399(相談専用)  
業務時間 8:30～17:15 休館日 日曜・月曜・祝祭日・年末年始  
URL <https://tia21.or.jp> Email [tia@tia21.or.jp](mailto:tia@tia21.or.jp)